

成果指標				
成果指標	婦人交通指導員設置費負担金額／活動参加者			
指標設定の考え方	交通安全協会実施事業への参加者一人あたりに対応する負担金額をみて、事業規模の適否を判定する。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目 標	968	883	883	883
実 績	904	667	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	相変わらず高齢者が関係する交通事故の比率が高いことから、引き続き高齢者を対象とした啓発活動を重点的に行う必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	交通安全協会実施の事業への参加者にかかる市負担金(婦人交通指導員設置費負担金)は前年度比で改善している。引き続き負担金支出の効果が上がるよう交通安全協会へ働きかける。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	設置の目的、負担のあり方を今一度確認し、具体的な活動内容と効果を検証のこと。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。